

史上初!トニー賞®全女優賞部門を6度受賞、  
アメリカの舞台エンターテインメント界において最多受賞を誇る、  
ブロードウェイ界の大スターで看板女優、オードラ・マクドナルドの代表作、  
そしてトニー賞®受賞作品!

愛に飢えても差別に負けない  
時代のカリスマ、ベリー・ホリデイを知らずして、  
人に伝わる”歌“は語れない。



オードラ・マクドナルド 主演

# ベリー・ホリデイ物語

Lady Day at EMERSON'S BAR & GRILL

AUDRA McDONALD in LADY DAY AT EMERSON'S BAR & GRILL  
Written by LANIE ROBERTSON  
Scenic Design JAMES NOONE Costume Design TRACY CHRISTENSEN  
Casting ROBIN BATHERSON MATT MESSINGER  
Musical Arrangements and Orchestrations TIM WEIL Conductor/Pianist SHELTON BECTON  
Editor ROB BURGOS Director of Photography RICHARD SIEGEL  
Executive Producers JEFF ROWLAND STEWART F. LANE BONNIE COMLEY  
Produced by ALLEN NEWMAN Directed by LONNY PRICE

出演 オードラ・マクドナルド 他 監督/演出 ロニー・プライス 脚本 ラニー・ロバートソン

配給: 松竹 © BroadwayHD/松竹 (米国/2016/ビスタサイズ/90分/5.1ch) 日本語字幕スーパー版

松竹ブロードウェイシネマ <https://broadwaycinema.jp/>

BROADWAY HD

松竹ブロードウェイシネマ  
SHOCHIKU BROADWAY CINEMA

Instagram: [www.instagram.com/shochikucinema/](https://www.instagram.com/shochikucinema/) Facebook: [www.facebook.com/ShochikuBroadwayCinema](https://www.facebook.com/ShochikuBroadwayCinema) Twitter: <https://twitter.com/SBroadwayCinema>

2023年3月10日(金)より全国順次限定公開!

©Evgenia Eliseeva

**バラク・オバマ元大統領より、米国の芸術界における  
最高の荣誉である国民芸術勲章を受勲！  
大女優オードラ・マクドナルドが、「ビリー・ホリデイ」を熱演！  
ニューヨークのブロードウェイ・プロダクション、  
渾身の力をふりしぼる一作！**

本作は、米国・ニューヨークのブロードウェイそしてイギリスでも絶賛され、ニューオーリンズのカフェ・ブラジルで喝采を浴びた「Lady Day at Emerson's Bar & Grill」を生収録。

1959年3月、フィラデルフィアの小さなクラブのステージに伝説的なスターが立った。彼女の名は、力強い歌声によって多くのファンを魅了したジャズ界のカリスマ的シンガー、ビリー・ホリデイ。ユーモアと哀愁に満ちたこのステージから垣間見えるもの。それは、ひとりの女性が苦難に苛まれながらも力強く生きる姿と、世の中を変えてしまうほどに素晴らしい“歌の力”だ。

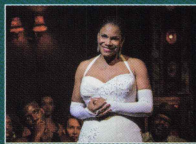
主演のオードラ・マクドナルドはトニー賞の演劇主演女優賞を受賞。6度目のトニー賞受賞を達成するとともに、これまで誰も成し遂げていない演技部門全4部門を制覇した。また、本作はトニー賞演劇音響デザイン賞も受賞。さらには、マクドナルドはエミー賞リミテッド・シリーズ／映画部門主演女優賞ノミネートの荣誉にも輝いた。



アメリカのニューヨーク・ブロードウェイを中心に、演劇・ミュージカル界では長い間第一線で活躍しており、彼女を目標にして日夜頑張る新人俳優も多いのではないだろうか。彼女の存在は、今のブロードウェイを象徴しているように思う。本作でのオードラ・マクドナルドの驚く点は、意表を突くその「声」にある。まるで、ビリー・ホリデイがタイムマシーンで目の前のスクリーンに現れたように瓜二つなのである。オードラ・マクドナルドの歌唱力と、ビリー・ホリデイが憑依したような、彼女の神がかりの演技力の虜になり、あっと言う間に時が経っていく様子に、ある種、清々しい気持ちになる。ここで1つ、幸運のラッキー・チャームとしてのビリー・ホリデイに関するトリヴィアを書き留めておきたい。ビリー・ホリデイ役は、今まで多くの俳優たちによって演じられている。『ビリー・ホリデイ物語 奇妙な果実』では、世界の歌姫ダイアナ・ロスがビリー・ホリデイを演じ、第30回ゴールデングローブ賞最優秀主演女優賞(ドラマ部門)にノミネートされ、第45回アカデミー賞で主演女優賞にノミネートされた。そして、『ザ・ユナイテッド・ステイツvs.ビリー・ホリデイ』では、シンガーのアンドラ・デイがビリー・ホリデイ役を演じ、第78回ゴールデングローブ賞で最優秀主演女優賞(ドラマ部門)を受賞、第93回アカデミー賞主演女優賞にノミネートされた。本作でビリー・ホリデイ役を務めたオードラ・マクドナルドは、前記のとおり、6つ目のトニー賞受賞を果たし、エミー賞にもノミネートされている。これは正に、ビリー・ホリデイの魔法と言えるのではないか。まるでそれは、生前に叶わなかった夢を、ビリー・ホリデイが名立たるパフォーマーたちを介して、体現しているようにも見える。この作品を通して、全ての人達がラッキー・チャームに巡り合える事を切に望んでいる。

**ストーリー**

時は1959年。舞台はフィラデルフィアのとある寂れたジャズクラブ。これから観客の面前で繰り広げられるのは、死を4ヶ月後に控えたビリー・ホリデイによる最後のパフォーマンスである。本作は、10曲を超える楽曲の数々に、辛辣で時にユーモラスな回想を交えながら、歌姫の姿とその音楽的世界観を魅力的に描き出していく。ニューオーリンズのカフェ・ブラジルで有観客上演された舞台を収録した「レディ・デイ・アット・エマーソンズ・バー&グリル」。6度のトニー賞に輝くオードラ・マクドナルドがジャズ界の伝説的な歌姫に扮し、歴史に残るパワフルなパフォーマンスを披露する。



**「松竹ブロードウェイシネマ」とは？**

現代の舞台の本場はやはりアメリカ・ニューヨークのブロードウェイ。でも、そう簡単にニューヨークへ足を運ぶ事はなかなか難しい。そこで、お手頃な価格でゆったりと本場ブロードウェイの舞台を中心に数々の傑作を映画館でお楽しみ頂きたいーそんなコンセプトから誕生したのが、「松竹ブロードウェイシネマ」。松竹は映画や歌舞伎・演劇、その他沢山のエンターテインメントを扱っている、言ってみれば「総合芸術」な会社。だから映画と舞台の融合だって不思議じゃない。日本映画史上初で、ブロードウェイの舞台を松竹が「映画館」から皆様へ、《最高な形》でお届けします！

©Evgenia Eliseeva

**受賞**

トニー賞。演劇主演女優賞 オードラ・マクドナルド  
トニー賞。演劇音響デザイン賞 スティーヴ・キャンオン・ケネディ

**2023年3月10日(金)より**  
[東京][大阪][名古屋]他  
全国順次限定公開!

<b>東京</b>	東劇 [3週間限定公開] 03-3541-2711	<b>東京</b>	シネ・リーブル池袋 03-3590-2126	<b>東京</b>	109シネマズ二子玉川 0570-077-109	<b>埼玉</b>	MOVIXさいたま 050-6865-4351
<b>千葉</b>	MOVIX柏の葉 050-6865-3401	<b>名古屋</b>	ミッドランドスクエアシネマ 052-527-8808	<b>大阪</b>	なんばパークスシネマ 050-6864-7125	<b>京都</b>	MOVIX京都 050-6865-3125
<b>兵庫</b>	kino cinéma 神戸国際 078-230-3580	<b>岡山</b>	MOVIX倉敷 050-6864-7076	<b>福岡</b>	T・ジョイ博多 092-413-5333	<b>熊本</b>	熊本ピカデリー 050-6861-7645
<b>北海道</b>	札幌シネマフロンティア 011-209-5400						

※T・ジョイ博多については公開日が異なる可能性があります。決定次第、発表いたします。